

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	施設へ入居することにより、家族や知人、友人との関係性が、継続出来なくなってしまうか。	家族や友人と過ごして頂く時間を作り、楽しい時間を共有でき、施設の全職員が家族様との関係性を継続できる支援を行い、時には友人、知人の皆さんで本人様を支えていけるように、促して行く。	本人様が、社会との人間関係(人や場所など)を継続して続けられるように、家族様と積極的に関わりをもち、外出支援等ができるように促し、支援して行きます。	
2	49	コロナ感染症の影響により、外出支援が減っている。	入居者様と、日常の会話から、コミュニケーションをとり 一人一人の思いや、願いを受容しながら、外出支援を行っていく。レクリエーションとして、季節ごとに、少人数でのドライブを計画して、楽しんで頂く。	ご家族様が面会に来られる際に、感染症対策をしながら事前に計画を立て、家族様とドライブできるように支援を行う。馴染みの職員と外出できるように計画をたて、地域のドライブや散歩が以前よりも、外出できる機会を増やして行く。	
3	35	火災、地震、水害の災害時に利用者様が、確実に避難できる、協力体制、連絡網などの現状の確認	風水害訓練にて、全職員に連絡行い、安否確認後に連絡網を使い、協力体制を確認、構築する。	防災訓練時に、緊急連絡網を使った、定期的訓練を実施する。全職員の緊急連絡時の協力体制の確認、災害のときに協力できるよう体制を作る。	
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。